3－1　各部の納まり詳細図

鉄骨下地　　横張り　　通気金具施工

1）基本構成図・下地組図	1．5尺×10尺

●通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●C形鋼は75×45～100×50㎜、厚み1．6～2．3㎜を610㎜以下の間隔で縦に組みます。（※）
●C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル（ねこ）を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
●出隅部、入隅部、左右接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
※1時間準耐火構造（QF060BE-9225）が必要な場合は@606㎜以下となります。また、防火構造および準耐火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2．3㎜とします。

